

團ヲ有セルカ徳永幹事長ハ九月二十九日残留職工全
部ヲ工場内食堂ニ集メ自ラ議長トナリテ工友會解散
ノ可否ヲ諮リタルニ滿場一致ヲ以テ解散スルコトニ
可決シ次テ積立金ハ會員均等ニ分配（約十圓）スル
コトニ決定セリ

然ルニ東京革工組合等議團ハ工友會ノ解散ニ不承ヲ
唱へ解雇者ヲ交へサル決議ハ無効ナリトシテ徳永工
場次長ニ對シ解散ノ責任ヲ問ヒタルニ工場次長ハ事
議團本部ニ至リ解散事情ヲ報告シタルカ事議團ハ謝
罪文提出方ヲ要求シ次長ハ之ヲ承諾シテ退出セルカ
其後次長ヨリ謝罪文ヲ提出セサルカ為紛糾ヲ重示居
レリ

三 交渉状況

十月四日正午自由團側代表渡辺周齋外々名ハ會社ヲ
訪問會社代表金子義朗金平堂次郎並ニ藤田工場長ニ
會見シ會社ハ我々ニ解雇通知ヲ發シタルノミニテ其
後何等ノ處置ヲ講セス我々ヲ徒食セシムルハ不都合
ナリト前提シ一吾々全負ヲ復職セシムルコトニ今後
従業員ニ對シ解雇手當ノ制定ヲ為スコトニツキ交渉
中折カラ休憩中ノ職工十名ハ自由團側残留職工ニ突
如會見ノ席上ニ押寄せ交渉委員ニ聲援シ会社側ヲ罵
倒シタルヲ以テ交渉ヲ進マルコト能ハス藤田工場長
ハ五日中ニ更メテ回答スヘキ旨ヲ約シ會見ヲ終レリ
四 將來ノ豫想